

目次

第1幕 井上ひさし人生劇場	井上ひさし 2
第1場 山形生まれの少年 東北を遍歴する	5 4
第2場 「浅草フランス座」を経て放送作家に	6 5
第3場 東京郊外都市市川で作家として	10 9
第4場 宅地化の進む市川市北国分へ	14 13
第5場 故郷の名を「こまつ座」に冠して	18 17
井上戯曲の魅力	22 21
第6場 世田谷・鎌倉に移り広がる活動	24 23
市川への想いふたたび	26 25
第7場 後年の足跡	30 29
井上ひさしと水木洋子	34 33
第2幕 「東北」への眼差し	35 34
第1場 「東北」農村の娘、浅草ストリッパーへの遍歴	38 37
「日本人のへそ」	36 35
第2場 市川の小説家が「東北」の独立騒動に!	38 37
「吉里吉里人」	42 41
「東北」にみるユートピアと暗部と	44 43
「イーハトーボの劇列車」	46 45
「藪原検校」	48 47
第4場 上演されつづける戯曲と「東北」	50 49
「雨」	52 51
「たいこどんどん」	54 53
「泣き虫なまいき石川啄木」	56 55
「父と暮せば」	58 57
第3幕 井上ひさしから受け継ぐもの	59 58
但馬一憲の写した井上ひさし	60 59
東北人のねばりと、あきれて目を見張るほどの才能と狂氣	61 60
シミジミ合掌	62 61
市川への時間・市川での時間	63 62
井上さんちの前	64 63
国の中に国を作る	65 64
ひょうたん島からもらえる希望と未来	66 65
井上ひさしと市川、そして私の故郷市川	68 67
井上麻矢	69 68
お別れのことば	70 69
市川読みっこ運動	72 71
企画展概要・協力者一覧	74 73
第5場 「東北」への眼差しと「市川」	76 75
「ドン松五郎の生活」	78 77
「偽原始人」	80 79
「水の手紙」	82 81
震災以降を生きる	84 83